

# 新井中央小だより

No. 273

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

メールアドレス [chuou@ac.city.myoko.niigata.jp](mailto:chuou@ac.city.myoko.niigata.jp)

2022（令和4）年6月27日

## 「第2回 さくらフェスティバル」

6月4日（土）、第2回目となる「さくらフェスティバル」を実施することができました。

子どもたちの年間を通じた「日々の学び」と地域の「人、もの、こと」を結びつけ、「地域を学ぶ」「地域で学ぶ」ことを意図して、昨年度から実施しています。各学年、地域の皆様に講師としてご協力いただき、それぞれに「ほんもの体験」を満喫することができました。



1年生 やってみよう！むかしのあそび



2年生 あの人にいたいな（消防士にチャレンジ） 3年生 見つけよう 妙高のお宝（かんずり編）



4年生 リサーチ！妙高の自然の魅力



5年生 祭だ わっしょい！-チャレンジ祭り-



6年生 妙高市について、知る、見る、体験しよう



天候にも恵まれ、ついに6年生「なかよしマーチングバンド」のお披露目演奏・演技も実現しました！

また、本年度は初めて、当日の活動を振り返りながら、CS委員や講師、保護者の皆様と今後の活動について想いや情報を伝え合う「きらり発見ディスカッション」が実現し、貴重なご意見をいただきました（裏面で詳しく紹介しています）。各学年の今後の活動に活かしていきたいと思えます。ご協力いただきました皆様、ご参観いただきました皆様、本当にありがとうございました。（校長 村治 隆夫）

# さくらフェスティバル

## 「はらり発見！ディスカッション」

6月4日(土)は、たくさんの保護者の皆様より「さくらフェスティバル」にお越しいただき、ありがとうございました。それぞれの授業で、地域の方々から地域のことを一生懸命に学ぶ子どもたちの姿をご覧いただけたと思います。4時間目には、講師の皆様や学校運営協議会の皆様、保護者の皆様と職員でディスカッションの時間を設けさせていただきました。短い時間ではありましたが、実りあるディスカッションになりました。内容を一部お知らせいたします。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

### 1年生「やってみよう むかしのあそび」

- ・楽しく保護者のみなさんも巻き込んで行えたので良かった。できないときに保護者が声を掛けたり、教えたりする姿もよかった。
- ・子どもたち同士で、刺激し合いながら、教え合いながら学んでいく機会となっていた。
- ・子どもたちの中でも「こま先生」と呼ばれるような上手な人がいた。子どもたちの関わりへと広げることにも活用できる。
- ・タブレットと離れ、「人と遊ぶ」良い経験となっていた。



### 2年生「あの人にあいたいな」



- ・千草石について知らなかったが、本物に触れることができたことで、貴重な体験にすることができた。子どもたちが興味をもって取り組んでいた。体験活動の大切さを感じた。
- ・休め、気を付け、敬礼など、きびきびとした動きを一緒にしたり、25kgもの装備を身に着けたりと実際に体験させていただき、地域で働く身近な人への興味関心をもつ機会となった。

### 3年生「ひびきっ子 お宝たんけんたい!! 見つけよう 妙高のお宝」

- ・ビデオやあげもちなどで興味がそそられた。テレビやマスコミを通しては見るが、生の体験ができたのが良かった。
- ・妙高を出たことがない子どもが「かんずり」の話を聞くことで、気候や地域の特徴を知ることにつながった。
- ・これから外に出て、体験することで、かんずりの体験が懐かしい風景として、子どもたちの心に残ってくれることと思う。
- ・話を聞き、メモを取り、うなずきながら話を聞けていた。また、子どもならではの目線の質問が聞かれた。



## 4 年生「リサーチ！ 妙高の自然の魅力」2



- 子どもたちと楽しく会話ができた。机に座っているのと違った環境で行われたことで、子どもたちも発言しやすかったのではないかな。
- 保護者と一緒に活動する場面があると、保護者と一緒作っていくという雰囲気になったのではないかな。
- 子どもたちの反応が良く、話す側も楽しかった。子どもたちののはつらつとした姿や、楽しく学んでいる姿が見られて、中身のあるものになっていた。
- 地元の自然を体験する機会が少ない。今日知ったことを体験に移すことで、地元の良さを再発見してもらいたい。

## 5 年生「祭りだ わっしょい！ -チャレンジ祭-」

- 力強く一緒にたたいて楽しかった。整列、あいさつが素晴らしい。オンオフの切り替えがよい。
- 私たちもイベントがなく、一緒になって楽しかった。元気をもらった。
- 新井ばやしの実験がはじめてであったが、地域を身近に感じられる活動である。
- わくわくランドにも須弥山太鼓クラブがある。高齢者施設でたたくと喜ばれることも。



## 6 年生「妙高市について、知る、見る、体験しよう」



- どんなことが心に残ったのか記録していくことが大事で、それが積み重ねられていく。
- 6年生段階で、感想を「共通して言える大事なこと」のように抽象化することが必要。「楽しかった」で終わらないようにしたい。
- 子どもたちから出て来た言葉から、共通した合言葉に自然とまとまっていくとよい。
- 建設にも女性が活躍しているという事をお聞きし、「なかま(人権教育)」にもつながっていくと感じた。

## 全体として

- 子どもたちの学習の場ではあるが、「なるほど」と思う部分があり、大人の学びの場でもあると思った。
- 保護者が興味を示すと、必然的に子どもたちも興味をもつようになると思う。
- 学校以外で地域での遊びや活動が少ない現状は、人との付き合いを狭めていると思う。年代を問わずいろいろな人や生き物と接する機会を増やしてあげたいと今日の子どもたちの姿を見て思った。